

木材を活用した学校施設づくり講習会

木材は、建築物の部材として、柔らかで温かみのある感触を与えたり、室内の湿度変化を緩和させ快適性を高めるなどの優れた性質があると言われており、学校施設への木材活用は、豊かな教育環境づくりを進める上で大きな効果を期待できます。しかしながら、木材の活用にあたっては、建築コスト、維持管理の手間、防火上の対策などへの懸念の声が聞かれ、地方公共団体としての木材利用推進体制の充実や地域材の供給・流通システムなども課題となっています。

当講習会では、このような課題を解決するための一助とすべく、木材活用に関する施策紹介や専門家による特別講演、地方公共団体の取組紹介、学校施設の視察等を通じて、地方公共団体や木材関連企業、設計者等のみなさまによる、木材を活用した学校施設づくりの取組を支援します。

三重会場

平成24年11月1日(木)－2日(金)

会場／四日市市民交流会館

特別講演者／東洋大学 教授 長澤 悟

「学校づくりの今日的課題と地域材の活用」

視察校／亀山市立関中学校(木造一部鉄骨造)



高知会場

平成24年11月12日(月)－13日(火)

会場／高知共済会館

特別講演者／東京都市大学 教授 大橋 好光

「公共建築物木材利用促進法と中大規模木造建築」

視察校／中土佐町久礼中学校(1階RC造、2階木造)



山形会場

平成24年11月26日(月)－27日(火)

会場／山形テルサ

特別講演者／シーラカンズK&H株式会社 代表取締役、

東洋大学 教授 工藤 和美

「『木に集い、木に学ぶ、みんなの学校づくり』

～設計・建設のプロセスにみる木造校舎のこれから～」

視察校／西川町立西川小学校(RC造一部木造、一部鉄骨造)



受講無料

定員100名程度／会場

受講者の旅費及び宿泊費等は、個人負担となります。

なお、学校施設視察へはバス(無料)でご案内します。

主催 文部科学省 後援 林野庁(予定)

講習会HP http://www.mext.go.jp/b_menu/gyouji/detail/1324859.htm

(担当) 文部科学省大臣官房文教施設企画部施設助成課調査係 TEL 03-6734-2078

お申込、お問合せ先 「木材を活用した学校施設づくり講習会」運営事務局((株)ダブリュファイブ内)

お申込HP <http://www.w5ss.com/2012bunkyo2/bunkyo2.html>

TEL 052-586-2186

定員になり次第、受付を終了させていただきますので、あらかじめご了承ください。

木材を活用した学校施設づくり講習会 第1回【三重会場】

開催日：平成24年11月1日（木）-2日（金）

開催場所：四日市市市民交流会館

（三重県四日市市本町9-8）

プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 13:00-13:20 | 開会挨拶・施策説明
「木材を活用した学校施設づくり促進の取組」
文部科学省大臣官房文教施設企画部施設助成課 |
| 13:20-13:35 | 施策説明
「木材利用における林野庁施策の動向」
林野庁林政部木材利用課 |
| 13:35-13:50 | 施策説明
「木造計画・設計基準について」
国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課木材利用推進室 |
| 13:50-14:50 | 地方公共団体の取組紹介
「地域産材と伝統技術を結集した学校づくり」
三川町教育委員会学校教育 主査兼係長 佐藤 亮

「京都市における木材利用推進の取組について」
京都市林業振興課 井上 智喜 |
| 14:50-14:55 | 質疑応答 |
| 14:55-15:05 | 休憩 |
| 15:05-16:15 | 特別講演
「学校づくりの今日的課題と地域材の活用」
東洋大学 教授 長澤 悟 |
| 16:15-16:20 | 質疑応答 |
| 16:20-17:00 | 視察校の事例紹介
「木のぬくもりを感じる校舎づくり 一亀山市立関中学校一」
亀山市教育委員会事務局教育総務室 室長 上田 稔 |
| 17:00-17:05 | 質疑応答 |
| 17:05-17:15 | 事務連絡 |

1日目

- | | |
|-------------|-------------------|
| 9:00-10:00 | 移動 |
| 10:00-12:00 | 学校施設視察 「亀山市立関中学校」 |
| 12:00-13:00 | 移動（解散） |

2日目

※時間は、当日の進行により、若干変更となる場合があります。

木材を活用した学校施設づくり講習会 第1回【三重会場】

【特別講演】

長澤 悟

東洋大学理工学部建築学科 教授
(専門:建築計画学)
東洋大学木と建築で創造する共生社会研究センター
(WASS) センター長
教育環境研究所 所長

「学校づくりの今日的課題と地域材の活用」

3.11東日本大震災を踏まえ、平常時も災害時も地域の核としての役割を果たす学校のあり方、ゼロエネルギー化、既存施設の有効利用や老朽化対策、そして何より教育の充実や豊かな環境づくり等、学校施設が前にする課題をとらえた上、特に地域材を生かした学校づくりの意義や可能性、実現する上での工夫や先進的な取組について紹介します。

【地方公共団体の取組紹介】

佐藤 亮

三川町教育委員会学校教育 主査兼係長

「地域産材と伝統技術を結集した学校づくり」

三川町立東郷小学校は、木造平屋建校舎で庄内産杉材を無垢材として建物内外に多く使い「木の温もりと優しさ」を感じる校舎となっています。また、雪で根が曲がった材木などは梁に活用して曲面デザインと強度にも配慮するなど、材木を適材適所に使用した構造となっています。

井上 智喜

京都市産業観光局農林振興室林業振興課

「京都市における木材利用推進の取組について」

京都市では、市内産木材の利用拡大を目的に「みやこ杉木(そまぎ)」認証制度を創設しました(平成19年度)。現在、関係部局と連携しながら、建築用途のほか、バイオマスエネルギーとしての活用を進めるとともに、木材利用の啓発活動にも取り組んでいます。

視察校の概要

亀山市立関中学校(亀山市関町新所1863)

【取組紹介】

上田 稔

亀山市教育委員会事務局教育総務室 室長

「木のぬくもりを感じる校舎づくり」

改築校舎:校舎管理教室棟
構造等 :木造一部鉄骨造 2階
竣工 :平成23年3月
建築面積 :2323.89㎡
延床面積 :2628.99㎡

亀山市立関中学校は、「木のぬくもりを感じる校舎」をコンセプトの一つとして、吹抜けの多目的ホールに地場産の樹齢100年以上のスギ丸太を使用したことをはじめ、柱には県産材の杉集成材を、梁には国産の唐松集成材を使用した校舎です。一方、重要伝統的建造物群保存地区に選定された関宿の町並みに隣接していることから、「緩やかなうねり」「低い軒の連なり」「それぞれの家々の適度な個性を出しながらの調和」といった関宿の特徴もデザインに活かされており、まちづくりと調和のとれた施設としての姿も併せ持っています。



木材を活用した学校施設づくり講習会 第2回【高知会場】

開催日：平成24年11月12日（月）～13日（火）

開催場所：高知共済会館（高知県高知市本町5-3-20）

プログラム

1日目

- 13:00～13:20 開会挨拶・施策説明
「木材を活用した学校施設づくり促進の取組」
文部科学省大臣官房文教施設企画部施設助成課
- 13:20～13:35 施策説明
「木材利用における林野庁施策の動向」
林野庁林政部木材利用課
- 13:35～13:50 施策説明
「木造計画・設計基準について」
国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課木材利用推進室
- 13:50～14:50 地方公共団体の取組紹介
「学校施設の木造化・木質化について ～賑わいと安らぎの杜の都 真庭～」
真庭市教育委員会教育総務課 参事 妹尾 久敏
- 「高知県における木材利用推進の取り組みについて」
高知県林業振興・環境部木材産業課 チーフ 谷脇 勝久
- 14:50～14:55 質疑応答
- 14:55～15:05 休 憩
- 15:05～16:15 特別講演
「公共建築物木材利用促進法と中大規模木造建築」
東京都市大学 教授 大橋 好光
- 16:15～16:20 質疑応答
- 16:20～17:00 視察校の事例紹介
「中土佐町立久礼中学校の建築概要について」
中土佐町教育委員会 教育次長 下元 敬一郎
- 17:00～17:05 質疑応答
- 17:05～17:15 事務連絡

2日目

- 9:00～10:00 移動
- 10:00～12:00 学校施設視察 「中土佐町久礼中学校」
- 12:00～13:00 移動（解散）

※時間は、当日の進行により、若干変更となる場合があります。

木材を活用した学校施設づくり講習会 第2回【高知会場】

【特別講演】

大橋 好光

東京都市大学 工学部建築学科 教授

「公共建築木材利用促進法と中大規模木造建築」

公共建築木材利用促進法が施行され、木造建築が、また新しい段階に入ろうとしています。その動きは、大きく3つに分けることができます。第1は、ビルその他の非住宅分野の拡大、第2は、木材の特性を活かした新しい架構方式への挑戦、そして、第3は住宅分野の構法の変化です。これらの動きを辿りながら、今後の木造建築の可能性を考えます。

【地方公共団体の取組紹介】

妹尾 久敏

真庭市教育委員会教育総務課 参事

「学校施設の木造化・木質化について ～賑わいと安らぎの杜の都 真庭～」

岡山県北部中国山地のほぼ中央に位置する真庭市は、全面積の約8割が森林です。森林資源の豊富な真庭市では市有施設の木材利用方針を定め、木造化・木質化を積極的に検討しています。

谷脇 勝久

高知県林業振興・環境部 木材産業課 チーフ

「高知県における木材利用推進の取り組みについて」

高知県では、平成16年度に「県産材利用推進方針」を策定し、県産材の利用拡大に取り組んでいます。また、平成15年度に創設した森林環境税を基に森林環境保全基金を設置し、その一部を利用して「木の香るまちづくり推進事業」として学校関連環境整備等を行っています。

視察校の概要

中土佐町久礼中学校 (高岡郡中土佐町久礼7753)

【取組紹介】

下元 敬一郎

中土佐町教育委員会 教育次長

「中土佐町立久礼中学校の建築概要について」

改築年 平成22年3月24日着工 平成23年5月26日 竣工

普通教室棟 2階 1階RC造・2階木造 1,963.41㎡

特別教室棟 3階 RC造 1,043.71㎡

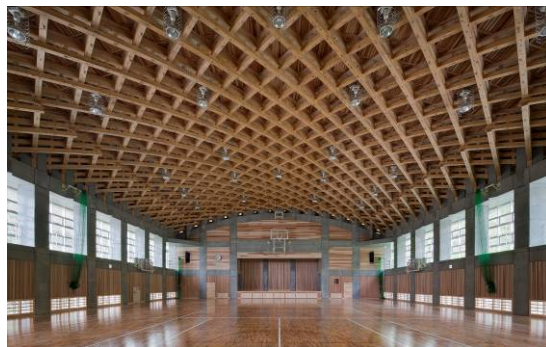
体育館棟 平屋 RC造・屋根木造 896.38㎡

旧中土佐町と旧大野見村が平成18年1月1日に合併し、新中土佐町となり、久礼中学校の改築については、町長の公約の一つでもありました。

普通教室棟については、樹齢100年の桧を530本使用した八寸角・無垢材の柱と梁は見ごたえがあり、梁間8mの肘木構法を取り入れたトラスを併用した木造建築となっています。

特別教室棟は、内装材・外装材共に町産材の桧・杉を多用した木製空間建築物となっています。

体育館棟は、屋根面の小屋組は木組をヴォールト状に面として扱った構法でラメラーフと名付けた葉の葉脈のような構法となっており、木の強さ、美しさを出した特殊構造になっています。



木材を活用した学校施設づくり講習会 第3回【山形会場】

開催日：平成24年11月26日（月）-27日（火）

開催場所：山形テルサ（山形県山形市双葉町1-2-3）

プログラム

1日目

- 13:00-13:20 開会挨拶・施策説明
「木材を活用した学校施設づくり促進の取組」
文部科学省大臣官房文教施設企画部施設助成課
- 13:20-13:35 施策説明
「木材利用における林野庁施策の動向」
林野庁林政部木材利用課
- 13:35-13:50 施策説明
「木造計画・設計基準について」
国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課木材利用推進室
- 13:50-14:50 地方公共団体の取組紹介
「木材で地域の産業を起こせ」
最上町農林課 課長補佐 高橋 明彦

「埼玉県産木材を積極活用した幼稚園づくり」
杉戸町建築課営繕担当 主査 渡辺 景己
- 14:50-14:55 質疑応答
- 14:55-15:05 休 憩
- 15:05-16:15 特別講演
「『木に集い、木に学ぶ、みんなの学校づくり』
～設計・建設のプロセスにみる木造校舎のこれから～」
シーカスK&H株式会社 代表取締役、東洋大学 教授 工藤 和美
- 16:15-16:20 質疑応答
- 16:20-17:00 視察校の事例紹介
「大杉の大黒柱を設置ー町産材をふんだんに使用した西川小学校ー」
西川町教育委員会学校教育課 教育総務係長 佐藤 俊彦
- 17:00-17:05 質疑応答
- 17:05-17:15 事務連絡

2日目

- 9:00-10:00 移動
- 10:00-12:00 学校施設視察 「西川町立西川小学校」
- 12:00-13:00 移動（解散）

※時間は、当日の進行により、若干変更となる場合があります。

木材を活用した学校施設づくり講習会 第3回【山形会場】

【特別講演】

工藤 和美

シーカンスK&H株式会社 代表取締役
東洋大学理工学部建築学科 教授

『『木に集い、木に学ぶ、みんなの学校づくり』

～設計・建設のプロセスにみる木造校舎のこれから～

来春、完成を迎える熊本県山鹿市の地元アヤ杉を用いた、美しい架構の小学校校舎。在来集成材を利用し、豊かな曲面空間を生みだした、大阪大学まちかね保育園。樹状構造で、視線の抜ける空間を実現した福岡自然学園さつき幼稚園。材も架構法も地域性も異なる3つの設計事例を通して、木造校舎のこれからをお伝えします。

【地方公共団体の取組紹介】

高橋 明彦

最上町農林課 課長補佐

「木材で地域の産業を起こせ」

山間地域で新たに産業を起こすには、地域に賦存する資源をどのように利用するかが大きなカギになります。これまで利用されていないで、捨てられてきた木材資源(間伐材)をエネルギー利用したことで、新たな産業が生まれました。

このことが、木材利用への意識の高揚や観光産業へ結び付いています。地域のやる気と産業興しを紹介します。

渡辺 景己

杉戸町建築課営繕担当 主査

「埼玉県産木材を積極活用した幼稚園づくり」

杉戸町では、平成22年度に幼稚園を1園、平成23年度に保育園を1園それぞれ老朽化した園舎の改築工事を実施しました。園舎は埼玉県産木材を積極活用し、職員設計にて実施しています。

この取組のきっかけになった平成22年度に竣工した杉戸町立中央幼稚園管理棟・遊戯棟改築工事の事例について紹介します。

視察校の概要

西川町立西川小学校(西村山郡西川町海味1234)

【取組紹介】

佐藤 俊彦

西川町教育委員会学校教育課 教育総務係長

「大杉の大黒柱を設置

ー町産材をふんだんに使用した西川小学校ー」

校舎、屋内運動場 平成22年12月竣工(新築)

校舎 RC造一部木造 4,927㎡

屋内運動場 RC造一部鉄骨造 1,862㎡

給食調理場 RC造 262㎡

さがえ

山形県の中心に位置する本校は、西に清流寒河江川、北には出羽三山の主峰月山^{がっさん}を望む大自然に抱かれています。

少子高齢化が進むなか、多くの町民による協議を経て、町内で一校となる統合小学校として平成24年4月開校しました。

町の面積の90%を山林が占める本町では、かつて林業が主産業でした。

本校の玄関ホールには340年の歴史を刻んだ大杉の大黒柱を設置し、校舎はもちろん屋内運動場の天井や壁面にも町産材をふんだんに使用しました。その結果、木のいのちとぬくもりを感じるあたたかい学校が誕生しました。

